



高齢者の带状疱疹ワクチン予防接種について

带状疱疹ワクチンが令和7年4月から定期接種となりました。発症予防効果と副反応等を理解した上で、接種をご検討ください。(予診票に添付の説明書やホームページもご覧ください。)

対象 以下のいずれかに該当する方

- ①当該年度に65歳になる方
- ②60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能が障がい日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する方(免疫機能の障がい障害者手帳1級相当)
- ③当該年度に70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方(令和7年度から11年度までの5年間の経過措置)

予診票配布方法

対象者には4月に予防接種予診票を送付予定です。
(②に該当する方は申出が必要です。郵送または窓口で配布します。)

ワクチン・自己負担額等

ワクチン名	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	乾燥組換え带状疱疹ワクチン「シングリックス」
接種回数	1回 (皮下接種)	2回 (筋肉内接種)
接種間隔		2か月以上6か月以内
自己負担額	4,500円	16,500円 (接種1回につき)
	生活保護受給者、中国残留邦人は費用免除 (受給者証を医療機関窓口へ掲示)	
その他	<ul style="list-style-type: none"> •すでに乾燥組換え带状疱疹ワクチンの1回目接種を任意接種で受けた方が、定期接種の対象となって2回目の接種を受ける場合は、2回目を定期接種として扱います。 •带状疱疹ワクチンの交互接種 (2種類のワクチンを組み合わせて接種すること) はできません。 •過去に带状疱疹ワクチンを接種済みの方は、原則として定期接種の対象にはなりません。医師により接種が必要と認められる場合には、定期接種として受けることができます。 	

接種方法 契約医療機関での個別接種になります。医療機関に直接予約してください。過去に带状疱疹ワクチンを接種した方は、接種歴をご確認の上、予約をしてください。

町内契約医療機関

医療機関	電話番号	生ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
あけぼの内科リウマチ科クリニック	(37) 2525		○
井上小児科皮膚科	(33) 7311	○	○
今井病院	(32) 0065	○	○
埼玉杉戸診療所	(48) 6904	○	○
杉戸クリニック	(33) 0088	○	○
杉戸耳鼻咽喉科医院	(32) 2841	○	○
高野台クリニック	(35) 1110	○	○
玉井医院	(33) 2464	○	○
鳥居整形外科医院	(32) 4433	○	○
山根医院	(33) 3314	○	○

※町外で接種できる契約医療機関は埼玉県医師会ホームページまたは、保健センターへお問合せください。

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種について

65歳の誕生日の翌月に予診票を郵送します。誕生日以降に転入した方、予診票を紛失した方、60歳～65歳未満の対象者の方は、保健センターまでご連絡ください。
接種費用 自己負担金7,200円 (生活保護受給者・中国残留邦人の方は免除)

対象者 接種日時点で杉戸町に住民登録があり、接種を希望する①または②に該当する方
①65歳の方
②60歳～65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいがある方 (身体障害者手帳1級相当)

使用するワクチン 沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン

接種期限 66歳の誕生日の前日まで

乳幼児健診

名称	対象	実施日
3～4か月児健診	令和8年1月生	5月20日(水)
9～10か月児健診	令和7年7月生	5月19日(火)
1歳6か月児健診	令和6年10月生	5月13日(水)
3歳児健診	令和4年12月生	5月27日(水)

受付時間 12時25分～13時15分

持ち物 個別通知をご確認ください。

※対象児には個別通知を郵送します。健診日の1週間前までに通知が届かない場合は、保健センターへご連絡ください。

5月7日(木)～「骨粗しょう症・がん集団検診」インターネット先行予約が始まります!

インターネット先行予約では、受付時間もお選びいただけますので、ぜひご利用ください!

パソコン

「杉戸町がん検診 インターネット予約」で検索!
「令和8年度 骨粗しょう症・がん検診(集団)インターネット予約」からお進みください。

スマートフォン

二次元コードから→
(スマートフォン以外の携帯電話からはご利用いただけません。)



※詳細は、令和8年度杉戸町保健センター年間計画表「げんきになるゾウ～」のP5～6をご覧ください。

【がん検診の主なメリット・デメリット】

がん検診にはメリットだけでなく、デメリットもありますが、がんを早期に発見するためには、年1回(乳がん・子宮頸がんは2年に1回)、がん検診を受けることが大切です。胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診は、科学的な方法によって死亡率の減少が検証されており、国が推奨するがん検診です(自覚症状がある場合は、がん検診ではなく、医療機関を受診してください)。

メリット

- 早期発見・早期治療でがんの進行を防ぐことができる。
- がんになる前段階「前がん病変」を見つけ、治療することでがんになることを防ぐ。

デメリット

- がんが100%見つかるわけではない。(偽陰性)
- 結果的に不必要な検査や治療を受けてしまう可能性がある。(偽陽性・過剰診断)
- 検査によっては身体に負担がかかる。